

編輯室の内外

夏は暑いに極つたものだが、實際此頃の暑さ——編輯室を襲つて来る暑さは格外に厳しい、夫れでも吾々は我が路政の爲に、と自惚れて編輯に從事してゐるのだが、是等の社會奉仕の勞苦も現政府には判らないのか、夫れとも、道路の改良が國運進展の基礎的條件だと言ふことに、氣が附かないのだらうか、前内閣が折角樹てゝ呉れた、産業道路豫算を全部削つてしまつた、そして産業立國策は、現内閣の主義に反すと言つて済ましてゐる、併し現内閣の政策はまだ議會の協賛を経て居ない筈、夫れに現内閣の主義に反してゐると言つたところが夫れは五十六議會の議決を打破るだけの理由とは爲らぬ筈、獨裁政治下に於かれた國なら夫れでも仕方がないが、我國は伊太利ぢや無い、政府が夫れを忘れて呉れては困る、と、言つて氣焔を擧げること、夫れだけでも暑い。

氣焔だけでも暑いのに、お隣りの道路課では、正午を期して退廳もせず、上手でも

編輯室内外

無い算盤を弄つては騒いでゐる、何のことだと尋ねて見ると、産業道路豫算を何とかして復活して見たい、と、言ふ、役人と言ふものは實際氣の毒なものだ、産業立國策を排して夫れが假令所謂財政の緊縮に爲つたにしても、失業者が續出することを構はんと言ふやうな政府が永らく續く譯でもあるまいに、夫れの見越しが附かないで騒いでゐるのは、滑稽だ、此ことを緊張して眞面目に働いてゐる官吏と言ふのだから、現内閣の緊縮も御芽出度い、官廳用の自動車を買ふの政策では、有識階級は踊るまい、唯だ踊つてゐるのは野黨の陣笠だけだ、チーイ言ふな、言ふな、又暑くなる。

幹事の丹羽さんが、若手の知事さんに出た。何と言ふ皮肉であらう、と言ふのは同縣には昔から本會の會員は勿論のこと、本誌の讀者も一人もあないと言ふ、現代ばなれのしてゐる縣、そこへ知事になつて行くからだ、少し土木課長の尻を叩いて縣下を路政化して貰ひたいものだ。

暑くなるやうな話は別として、本會が懸賞論文を募集したのに對し、隨分應募者が

あるやうだ、現政府と違つて路政に目醒めた民衆の在ることを、心強く感ずる、夫れに附けて必要な統計や、海外に於ける實例は、本會の所藏してゐるものだけば割愛して可い、續々申込んで貰ひたい、そして路政に無自覺な現政府を鞭撻して善政を執行せしめやうとありませんが、セメテ夫れが現政府の下で私共の行くべき方途だ。

(路政僮)

本號定價 五十錢

一ケ年分 金六圓

東京市麴町區大手町一丁目内務省内

發行所 社團 道路改良會

發行者 小島 效

東京市小石川區諏訪町五六

印刷所 常磐印刷所

印刷者 堀江 關武

權威の界装鋪

は御用はのアルトブロック

下記へ御照會下さい

株式會社 **大日本アスファルト工業所**

本社

大阪市 港區 田中元町 一丁目 一五〇番地
電話 西三六〇二番

出張所

東京市 日本橋區 通二丁目・加島銀行ビル
電話 日本橋(24)四五八八番

火藥界の權威
理想的の爆藥

淺野カーリット

ダイナマイトより爆藥は強く値段は安く
貯藏も安全取扱も容易……

是非御使用を願ひます

(カタログ進呈)

東京市麴町區丸ノ内壹丁目貳番地

淺野セメント株式會社

カーリット部

會 告

町村道路網

町村道路網計畫樹立の急務

産業の隆替、文化の向上すると否とは一に懸つて道路計畫の適否に在る、都市計畫が専ら道路網の確定を先にするのも寔に理由の存するところである、人家未だ稠密ならざる町村に於ても、將來に於ける産業の發展に備ふるが爲、いまの時に於て道路網計畫を確定するに非されば悔を後年に胎すに至ること明かである。而して之を確定するには町村の現狀と將來とに察し經濟的考案を加ふる必要がある、是が爲には専門の智識を必要とするを以て本會は町村の希望に應じて之が調査を開始せんとす。

調査の方法

本會より斯界の權威者を派遣し實地に就き調査せしめ、更に本會調査部の議に附し、町村道路網計畫及之に要する經費を定めて、依頼町村に送付するものとす

費用

調査に要せる實費に限り依頼町村の負擔とす

調査應委囑

昭和四年七月二十五日印刷
 昭和四年八月一日發行
 (每日發行一回)

國產  鋪裝材

コルタール

と

ピツチ



使用簡易
 應用自在
 價格低廉
 品質堅牢
 供給無限

鋪裝用
 維持用
 修繕用
 防水用
 クッション用
 絶縁用

東京瓦斯株式會社

東京市麹町區有樂町一、一
 電話 丸の内 自三四〇〇
 至三四〇九